

自分らしく生きた経営者のあくなき挑戦！卒寿を迎えた「貴人＝雪山会長」への敬慕の

お話し*****悟性に至る道***** はやぶさ2・621号 2023年10月06日（金）

*もし、あなたが満足した人生をおくり、「笑顔」でいたいならば、
この方の生き方を知ってください。

%company%

%free1%

%free2%

%name_sama%

■LittleBiz 企業をみざすのであれば

「理念経営道」を更に推し進め、

LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や

経営者やステークホルダーの方々が

「豊かになり・幸せ」になってほしいのです。

*「LittleBiz 企業」とは私の造語ですが、

小さい企業規模だが

「No.1」の商材を持ち、

地域に貢献し

人々に「勇気と希望」をもたらし

次世代に繋いでいく

「理念経営道」を実践している企業です。

渋沢栄一翁が提唱する『合本主義＝義利合一』を体得して、

100年企業になる時代がきていますので、

その実現に全身全霊をかけて邁進いたします。

■■自分らしく生きた経営者のあくなき挑戦！

卒寿を迎えた「貴人＝雪山会長」への敬慕のお話し（4回シリーズ）

◆第1回 雪山家のルーツと徳之島の文化

◆第2回 作家志望の挫折と人生の転機

◆第3回 創業のいきさつと、「血の小便がでる」ピンチの体験

◆第4回 すばらしい伴侶と多くの方に恵まれて「笑顔」の生活

~~~~~序文~~~~~

・「貴人」とは、自らの生き方や様々な困難に出会ったときに「勇気と希望」を与えてくださり、有形無形の支援をもたらしてくれる方です。

多くの場合は年長者の方で、この方を心に浮かべるだけでエネルギーが湧いてきます。

人生は様々な修行の場であり、それらの経験をとおして魂はつながっているのです。

真に「一期一会」で必然的に貴人と出会うのです。

・極論すれば、出会う前にすら「愛」しているのです。

この「愛」は肉感的な愛ではなく、友愛に近い憧れと感謝を伴っており、

ご先祖様への感謝とは感じが少し違うのです。

・凡々と生きているように見える方にも、ものすごい修行があり、すばらしい人生があり、

それは「不退転の不屈の精神」でやり遂げるのだということであり、

「悟性」にいたる在家の道であり、

LittleBiz 企業・中小企業の経営がその道の一つあることをお伝えしたいと念います。

- 今回 4 回のシリーズは、ビジネスから少し離れて、  
企業経営が人間性を高め、豊かな人間関係を築いて多くの方々の支援を受け、  
子々孫々に幸せをもたらし、  
「世のため・人のため」に生き清豊の人生をおくられて「悟性」に至った、  
アルナ会長の雪山氏のお話を敬慕をもっていたします。

~~~~~本文~~~~~

◆第 1 回 雪山家のルーツと徳之島の文化

- 雪山会長程、人生の様々な辛苦を体験しながら、
「**柔らかな笑顔**」を卒寿になっても顔に刻んでいる方はいません。

知らない人はおそらく何の苦勞もなく、
恵まれて環境で過ごしてきたのではないかと
感じる方が多いかもしれませんが、全く反対なのです。

- 藍染めの美しい布が、藍染めの液に何度も漬けられ打たれて染められ、
清水にさらされて輝きを放ち、その存在の美を放つように、
人の風貌も浮世の様々な修行にさらされて創られるのです。

そうした実例をかいつまんでお話しします。

- ◆お生まれになったのは、1934年（昭和9年）
大阪市岸和田で内孫では初めての男の子でした。

届け出たのは、鹿児島県徳之島ですが、
徳之島につきましては後程何度か触れます。

名前も20の候補から3つに絞込み
実母がクジで引き当てて「渥美」と命名しました。

「名は体を表す」の故事どおりに、「雪山渥美」の名のごとく
そうした風貌が刻まれております。

- 目の病気にかかり左目の視力が無くなったのですが、気が付かないまま大人になり
老域になってからの手術で視力を取り戻したのです。

◆5才（1939年）に祖父が一人に暮らしになったため、
両親と妹の4人で郷土の徳之島に帰郷しました。

- ここで徳之島を簡単に紹介しましょう。

徳之島（とくのしま）は、南西諸島の奄美群島のほぼ中央にある離島で、
鹿児島県大島郡に属し、徳之島町・伊仙町・天城町の3町で構成されており、
雪山家は天城町に在りました。

石灰岩性のカルスト地形が発達した島で、
天然の海蝕洞や波食によって生じた海蝕台等の独特な景観が見られます。

特産物はサトウキビで薩摩藩の拝領地で搾取が厳しい土地柄でした。
このことが雪山会長の原体験にあり、その後の企業活動の原点になっているのです。

徳之島は希少固有種の宝庫として知られ、
2021年7月26日に動植物の多様性が認められ
奄美大島、沖縄島北部及び西表島と共に「世界自然遺産」に登録されました。

- 徳之島からは多くの人財が排出しており、
徳川の天領であった我が川口・鳩ヶ谷地区とは文化とハングリー精神が違うのを観じております。
- 著名人を紹介しますと

| | |
|---------------|-------|
| * 第46代横綱 | 朝潮太郎 |
| * コメディアン | 八波むとし |
| * 医療界の革新家・政治家 | 徳田虎雄 |

等がありますが、徳之島のコミュニティは非常に強固でお互いに支え合っています。

雪山会長も、徳之島会の幹部として活躍されていましたが、

それぞれの地域で多くの方が、徳之島会で活動し、コミュニティを形成しており、創業の時もこうしたコミュニティが大きな役割を果たすのでした。

- 西郷隆盛が島流しになり、島で子供も2人もうけておりその子孫は地方行政で活躍しました。

この西郷隆盛の島流しも、徳之島の文化の形成には何らかの影響があったと推測しております。

◆雪山家のルーツ

- ご先祖は島の資産家の一人で、喜和信（きわのぶ）シュウと呼ばれて地域の中で頼りされるリーダー＝棟梁として部落の人々と共に生活を営んでいたのです。
- 雪山家の母屋は、1本の大樹を切りだし大黒柱として一族がチカラを合わせて、建てたとのこと。この家は風速50メートルの台風にも耐えられる堅牢のモノで、自慢の家でした。

しかし後程人手に渡すことが起きます。

- 一人暮らしの祖父の日頃の生活風景を聴かされて、徳之島の日常を知りました。地引網漁に朝早く行き、リーダーの役目として取れた魚等を皆に配ったり、藁仕事や畑仕事の話や、黒糖焼酎づくりの自慢話も楽しく聴いていました。

祖父は、目の中に入れてもいたくないほどの愛おしさで、孫からエネルギーをもらって喜びとしていたのだと思います。

- * 終戦時（1946年・昭和20年）の頃は、徳之島では一族が家長の元に肩を寄せ合って生活していました。

喜和信シュウとしては、当然のことでしたが、15人もの大家族を養うことは借金生活を余儀なくされたのでした。

父君は、商いをやりますがことごとく失敗して、家計はいつも「火の車」の状態、ついに自慢の家を手放すことになったのでした。

- * 父君は単身で沖縄で生活しましたが、家計を潤すところが借財が増加していき、18才の時に家族全員で沖縄に移住したのです。

★これ以降は次号でお話しします。

~~~~~captain 平本の所感~~~~~

★雪山会長の幼児における祖父との交流や喜和信シュウとしての考働は、大きな影響をもたらしていると観じます。

棟梁としてやらねばならぬことや、自分のことだけでは済まないアンパンマン・マインドが体と心に沁みついており、そのことがその後の人生の展開において大きな潜在能力になっていると観じます。

つまり、ご先祖様の生きざまが考働に及んでおり、ご先祖様の功德のお陰なのです。

- ・そして父君の商い感覚と貧乏の苦しさを肌身で感じたことで、作家を志すのですが、結果として棟梁の仕事＝中小企業の経営者に導かれるのでした。
- ・どんな経験も全て受け入れて学んでいく（修行していく）姿に、敬愛を観じております。

\*著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~  
■参考図書■Amazon 電子書籍

合本主義「義利合一」の時代がきている

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

*著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~  
本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

heart\_gaia\_gi@hosbiz.net

~~~~~

バックナンバーは下記の URL を確認してください。

■ #620号・・・23・09・29（金）・・・バックナンバー・・・

https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を  
よろしくお願いします。

◆次号 第622号 23・10・13（金）は、

◆第2回 作家志望の挫折と人生の転機

を、お話します。 予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、

私たちは「世のため・人のため」になれない。

とクルー一同尽力しております。

■平本靖夫、50年の経営支援家人生の集大成 第1弾！

『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！2000円

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

◆『合本主義「義利合一」の時代がきている』は、

読み物として書いたのではなく、人生をいかに生きるが、ビジネス活動を  
どうすれば良いかの指針であり、「教本」ですので、  
内容をより理解していただくために、ZOOM 講義を、  
10月より開催いたしますので、よろしく申し上げます。

## ■ZOOM 講義 & 勉強会のご案内■

\*下記にてご案内します。ご期待ください\*

★購入していただいた方は、ご招待いたします。

10月12日(木曜日)・18:30~20:30

### notes

説明:・開講の目的&オリエンテーション 理念経営とは自分も他人も幸せになる

[https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls723lpdf\\_1\\_201.pdf](https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls723lpdf_1_201.pdf)

これを機会に是非お求めください

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。

では、また次号で元気にお会いしましょう！

---

◆発信日・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・岩下一智・(株)I&C・HosBiz センター 執行役員

マーケット・クリエーター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#inoue>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>



<https://www.facebook.com/MRCkazu/>

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、

私たちは「世のため・人のため」になれない

■平本靖夫、50年の経営支援家人生の集大成 第1弾！

『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

これを機会に是非お求めください

\*読者の皆様には、

### ■ZOOM 講義 & 勉強会のご案内■

\*下記にてご案内します。ご期待ください\*

★購入していただいた方は、ご招待いたします。

10月12日(木曜日)・18:30～20:30

notes

説明:・開講の目的&オリエンテーション 理念経営とは自分も他人も幸せになる

[https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls723lpdf\\_1\\_201.pdf](https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls723lpdf_1_201.pdf)

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu\_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC

\*配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

%cancelurl%